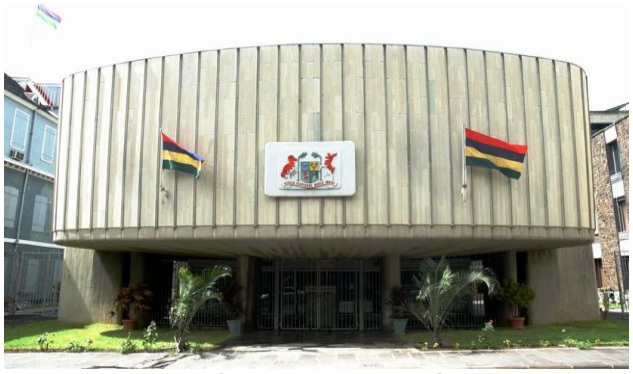
月刊ニュースダイジェスト

在モーリシャス日本国大使館
2026 年 9 月

EMBASSY OF JAPAN
IN MAURITIUS

内政



（写真：モーリシャス政府）

9 月 1 日、国民議会は「道路交通法（改正）法案」を可決した。これにより、アルコールや薬物の影響下での運転に対する措置が強化されるとともに、罰則措置の引き上げ、デジタル手続きの導入、および特定のケースにおける車両の差し押さえを認める規定が盛り込まれた。これらの改正の多くは 9 月 30 日に施行されたが、デジタル運転免許、車両の差し押さえ、および罰金のオンライン支払いについては 2027 年 1 月 1 日から本格運用される。

9 月 4 日、内閣は、金融犯罪委員会（FCC）に代わる国家犯罪局（NCA）の設立に関連する複数の法案を承認した。NCA のほか、金融犯罪、資産回収に関する複数の法案が国会議員に回付された。提案された法案は、特に新機関の独立性、組織体制、および捜査権限に関して、野党間で議論を呼んでいる。

ジャグナット前首相は、在任中に取得された電話盗聴装置に関する捜査の一環で、警察から事情聴取を受けた。同氏は 9 月 1 日と 17 日に聴取に応じた。2 回目の聴取は、同氏の要請により延期された。

9 月も野党グループ間の政治的な協議が続いた。モーリシャス連合（Rassemblement Mauricien）の党首であるナンド・ボーダ氏は、進歩闘争戦線（FMP）のポール・ベランジェ氏と、代替的な政治的枠組みの構築に向けた協力の可能性について協議を行ったと述べた。

外政・外交



（写真：L’express）

9 月 21 日、ラングーラム首相は、英国のアンディ・バーナム首相と電話会談を行った。両首脳はディエゴ・ガルシア軍事基地の将来について協議し、米国と引き続き協力していくことで合意した。

その翌日、米英首脳会談が行われ、トランプ米大統領はこの合意を「ひどい合意だ」と批判し、支持しないとの立場を表明した。 こうした一連の展開を受け、英国の国防大臣は BBC に対し、合意を見直し、ディエゴ・ガルシアの租借に関連する予定されていた支払いを延期すると述べた。ラングーラム首相は、チャゴス諸島に対するモーリシャスの主権は交渉の余地がないことを改めて強調し、外交ルートを通じて英国との協議を継続する意向を確認した。

9 月 26 日、ラングーラム首相はロンドンを訪れ、チャゴス協定の実施に関する最新の動向について、英国

首相の国家安全保障顧問であるジョナサン・パウエル氏と協議を行う予定である。



（写真：国連）

9 月 25 日に開催された国連総会で、モーリシャスのラムフル外相は一般討論演説を行い、モーリシャスのチャゴス諸島およびトロムラン島に対する領有権を主張した。また、地域情勢の不安定化が海上航路に与える影響を強調し、パレスチナに対するモーリシャスの支持を改めて表明した。 同大臣は、気候変動対策資金の拡充と、海面上昇の影響から小島嶼国をより強力に保護することを求めた。さらにラムフル外相は、国際機関における発展途上国の代表性拡大を求め、国連安全保障理事会におけるインドの常任理事国入りに対するモーリシャスの支持を改めて表明するとともに、安保理改革に関する G4（日本、インド、ブラジル、ドイツ）の提案を支持した。その他、AI、海上安全保障、サイバー犯罪に関する国際協力の重要性を強調した。さらに、英国のエド・ミリバンド外相およびアフリカ担当次官補と二国間会談を行い、貿易、海上安全保障、そしてモーリシャスで開催予定の「米・アフリカビジネスサミット」について協議した。

経済・経済協力



（写真：モーリシャス銀行）

9 月 3 日、モーリシャス銀行は、新たな統計データプラットフォーム「BOM STATS」を立ち上げた。モーリシャス銀行総裁のプリシラ・ムトゥーラ・タクール氏によると、BOM STATS はアフリカ開発銀行のオープンデータプラットフォームを基盤としている。 これまでは PDF や Excel ファイルで配布されていたり、個別にダウンロードしてアクセスしたりしていた統計データが、より簡単に閲覧できるようになった。また、これらのデータには、規格に準拠した説明文も付随している。

9 月 1 日、米国下院は「アフリカ成長・機会法（AGOA）」の 2028 年 12 月 31 日までの延長を承認した。その後、9 月 2 日、トランプ大統領は、AGOA の 2 年間の延長を含む法案に署名し、同法案は法律として成立した。これに先立ち、8 月 8 日には、同法案が米国上院で可決されていた 。

9 月 7 日、ギールジャ・シャンカール・ラジャ・ラムダウルシン氏が経済開発委員会（EDB）の最高経営責任者に就任した。同氏は公認会計士であり、「インド洋の星と鍵勲章グランド・オフィサー（G.O.S.K.）」の称号を保持しており、モーリシャス国内外において、投資および金融の分野で約 40 年の経験を有している 。

モーリシャスの外貨準備高は、7 月に減少が見られたものの、8 月末時点で約 4,859 億 2,000 万モーリシャス・ルピーに達した。国際ビジネスサービスを除いた輸入の 14.4 ヶ月分、および同サービスを含めた場合の 10.5 ヶ月分に相当するカバー率を示しており、同国は対外のニーズを満たすための十分な外貨準備を保持している 。

モーリシャス・ルピーは、主要な貿易相手国の通貨バスケットに対して、1 年間で 3%近く価値を下落させた 。モーリシャス経済は、引き続き構造的な貿易赤字を記録している。

モーリシャス統計局が 2026 年 7 月 に発表した最新の統計によると 2026 年 6 月の発電量は前年同月比 4%増の 2 億 4,709 万 kWh に達した。太陽光発電は 33.5%急増したものの、再生可能エネルギー全体の発電量は 5.4%減少した。この不足分を補うため、石炭火力発電は 14. 7 %増加した。

社会

モーリシャスの公的医療機関で記録されたインフルエンザの症例数は、8 月 24 日から 30 日までの 3,564 件から、9 月 14 日から 20 日までの 5,028 件へと大幅に増加した。 保健省はこの状況を通常通りと判断しているが、医師たちは、気温の変化や大気汚染、そ

の他の環境要因が感染拡大や症状の長期化の一因となっている可能性を指摘している。保健当局は、水分補給を十分に行い、衛生管理を徹底し、不必要な抗生物質の服用を避け、症状が 7 日以上続く場合は医師の診察を受けるよう推奨している。また、病院ではインフルエンザワクチンの接種が可能であり、特に幼児、60 歳以上の人、免疫力が低下している人や基礎疾患のある人への接種が推奨されている 。



（写真：Défi Media）

9 月 28 日現在、モーリシャスの主要貯水池の貯水率は 37.3%となっている。水資源委員会のジュグー委員長は、マレ・オ・ヴァコア貯水池の貯水率が 2026 年 11 月末までに危機的な水準である 20%に達する可能性があると発表し、より節度ある水の使用を呼びかけた。状況が悪化した場合は、より厳しい措置が講じられる可能性がある。



（写真：Défi Media）

モーリシャスにおける日本の活動



（写真：在モーリシャス日本大使館）

9 月 28 日、日本の国際協力機構（JICA）は、モーリシャスの産業・中小企業・協同組合省および国家生産性競争力評議会（NPCC）と共同で、JICA チェア・プログラムの一環としてハイレベルセミナーを開催し、日本の開発経験と生産性向上への取り組みを紹介した。政策研究大学院大学（GRIPS）の大野泉教授が、シンガポール、タイ、エチオピアの事例とともに、日本からの知見や教訓を共有した。9 月 29 日にはさらに JICA チェア会議が開催され、政府機関、民間セクター、その他のステークホルダー間での知識や視点の交換が続けられた。

スポーツ・文化



（写真：5plus）

ジウジテイロ・アジャムル・ボジュル選手が、モーリシャス人で 3 人目となるブラジリアン柔術の世界チャンピオンに輝いた。同選手は 9 月 3 日、日本の東京で開催された SJJIF 世界選手権でこの偉業を達成した。同選手は、ブラウンベルト・オープン部門で圧巻の活躍を見せ、金メダルを獲得した。その他のモーリシャス人選手たちも、選手権で好成績を収めた 。

****

大使館情報

住所：Embassy of Japan in Mauritius, Level 6, Tower C, 1 Exchange Square, Wall Street, Ebene, 72201

電話：(230) 460 2200、FAX：(230) 468 6612、メールアドレス：japanembassy@mx.mofa.go.jp

ホームページ：https://www.mu.emb-japan.go.jp/itprtop_en/index.html

Facebook では、当団体の活動やイベント情報を定期的に投稿しています。ぜひご覧ください。
https://www.facebook.com/JapanEmb.Mauritius/

****